

国際広報メディア・観光学専攻

観光創造研究コース

平成31年度

前期

日本語論述

10:00～12:00

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて2枚である。
- 3 解答用紙(25字×40行=1,000字)は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 7 下書き用紙は別途配付されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 8 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題について、1,600～2,000字の日本語（横書き）で解答しなさい。
なお、適当な位置で改行して段落に分けること。
また字数は改行による空白を含めて計算する。

2018年、北海道では地震や台風といった自然災害があいついだ。尊い人命が奪われ、道路・空港・鉄道などのインフラも直接的な打撃を被った。また、風評被害も深刻化している。同じような状況は、四川大地震（2008年、中国）、東日本大震災（2011年）、ハリケーン・フローレンス（2018年、米国）などでもみられる。

観光は自然災害に対して脆弱であるが、災害からの復興において重要な役割を果たすことも期待される。災害復興に関わる主体を具体的に挙げながら、観光が復興に貢献しうる可能性とその際に想定される課題について、あなたの考えを論じなさい。